

1.16 団結旗びらきを起点に 3.6 全国労働者総→3.28 三里塚へ

日刊 動労千葉

82.1.7

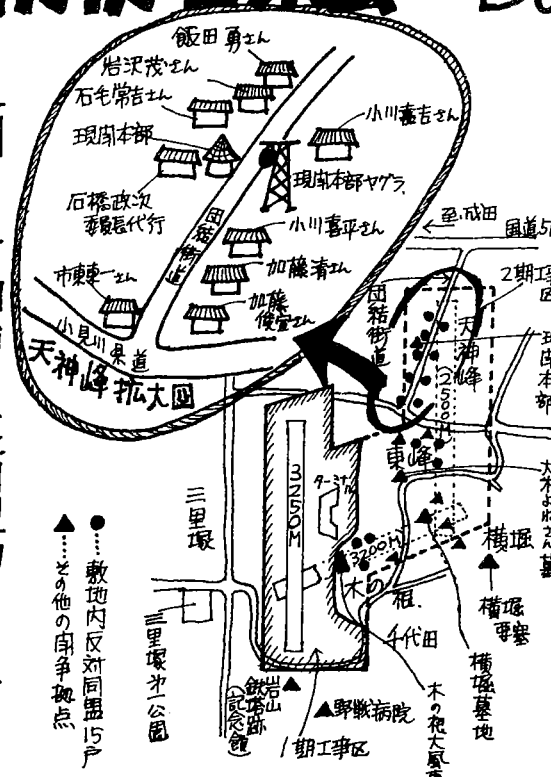
No. 936

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五ノ六（公衆）四七二七二〇七

二期着工阻止へ総決起しよう！

全ての組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。予期した通り、八二年は激烈な闘いの年として幕をあげました。昨年12月25日、三里塚芝山連合空港反対同盟は開始された政府空港公団からの卑劣な切り崩し策動を撃退し、敷地内を先頭に反撃の闘いに突入しました。そして同27日には怒りの「弾劾声明」を発表し、二期着工阻止へ向け全国全人民に緊急アピールを発し、総決起を呼びかけました。われわれ動労千葉は、反対同盟の決起と呼びかけに応え連帯し、3.6労働者集会（習志野文化ホール）の大成をかちとり、3.28三里塚への巨万の労働者・人民の決起の最先頭にたとうではありませんか。



二期着工へ開始された同盟切り崩し攻撃

昨年末、12月25日午前6時、運輸省審議官・服部某なる卑劣分子が、敷地内天神峰反対同盟・小川喜吉さん、小川喜平さん宅（右図参照）にコンコ姿をあらわした。何というずうずうしさ、卑劣さか、怒りにもえた喜吉さん、喜平さんは、甘言をうつつて何とかいさかざうとする、切り崩しのプロ・服部某を「何しにきた、帰れ、」の一喝をもって庭先で撃退した。

この闘いは、昨12月11日「四空整」密議決定「二期着工宣言に対する三里塚農民の断固たる怒りの爆発であり、決定的な反撃ののろしである。同じく天神峰に孫子、四代一家をたしきり構えて闘う石橋政次委員長代行を先頭とする反対同盟は、直ちに怒りの「弾劾声明」を発し、敵公団の切り崩し「話し合い」攻撃に対して、農民のたましいはひとつ、空港廃港こそ唯一真の解決であることをきっぱりと宣言し、全国全人民の総決起を呼びかけた。（以下、12.27「弾劾声明」より抜粋）

弾劾声明

八二年二期着工に向けた用地内反対同盟への切り崩し攻撃を、怒りをこめて弾劾する。
決戦を前にして反対同盟は十六年間の闘いの根本精神である「空港絶対反対・一切の話し合い拒否」の魂を、決意もあら

たにうちがためたか。

五五〇ヘクタールの農地を強奪し、三百戸の農民を権力と甘言でたたき出し、コンクリートで固め、三里塚の農地と自然を破壊したのは誰か、殺人的騒音をまぎららし、水系を破壊したのは誰か。

それはかりか、十六年にわたって、戸村一作、小川明治、大木よね、三の宮文男、東山薫、新山幸男氏らの死と、ぼう大な不当逮捕者、負傷者をもたらしたのだ。

コンクリートをはがし三里塚に緑をとりもどせ、これにはわが同盟と政府、運輸省、空港公団とは絶対に非和解であり、「話し合い」の介在する余地はない。これこそ農民に生きろものたましいである。

わが同盟は、日本農民のため、たにかう労働者・人民のため勝利する。日本の未来と反戦・平和のために何としても勝利する。

三月二十八日、現地への大結集を、

一九八二年三月二十七日、三里塚芝山連合空港反対同盟

われわれ動労千葉はもちろんのこと、日本の全ての労働者・人民は、これにこたえ、三里塚二期強行着工を阻止すべく、一月一日闘争を闘い抜き、3.6労働者集会を突破口に、3.28闘争へ総決起しようではありませんか。われわれは、その最先頭にたとうではありませんか。

決戦の年八二年を、たくましく闘い、勝ちぬく気概を込めて、1月16日、動労千葉団結旗掲げの圧倒的成功をかちとろう！

1月10日、三里塚反対同盟旗掲げ（10時、現地千代田公民館）

16日、動労千葉団結旗掲げ（13時、労働者福祉センター）

2月7日、80年代を闘う第三回全国労組活動家懇談会（13時、船橋）

3月6日、全国労働者総決起集会（津田沼、習志野文化ホール）

3月28日、二期着工阻止、三里塚現地大闘争（正午、現地）